

風立ちぬ

庄内町立立川中学校
学校便り
2017. 7. 7

風の街の中学校の窓から

文責：校長 佐藤 真哉

「合唱」を通して人づくり！ 学級創り & 学校創り！



4月14日に庄内総合支庁青少年専門員の太田英一氏（狩川在住）から電話をいただきました。「10月22日に響ホールで青少年健全育成県民大会が開催される。県知事はじめ県内各地から青少年育成関係者500名が参加予定で教育委員会に相談に行ったら、教育長さんからアトラクションに”立川中学校の合唱を”と話があった。どうだろうか。」という内容だった。私は、誇らしくうれしい気持ちになった。検討することをお伝えして受話器を置いた。まず、五十嵐久先生に休日で引率・指導が可能か尋ねたところ快諾していただいた。そして、職員にも指導の協力を快諾していただいた。その後、太田氏と教育委員会に合唱を受けることをお伝えした。

6月13日の昼休みに校長室で生徒会執行部10名に青少年健全育成県民大会のアトラクション参加についてお願いしたところ全員参加することに同意してくれた。(ありがとう) 話の中で3つの目標について話した。

- ①立中生の誇りである「合唱」を県内参加者500名に届けたい！→成長
- ②庄内町の代表として「合唱（心）」を届けたい！→合唱（心と質の向上）
- ③立中生のまとまり・やる気を届けたい！→生徒の一体感・達成感

私は、立中学生が合唱を通してどれだけ成長してくれるか今から楽しみです。
(私も引率します。)

【合唱でホップ・ステップ・ジャンプ】

- ①10/22(日)「青少年健全育成県民大会」…響ホール
- ②10/29(日)「立川中学校文化祭全校合唱」…立川中学校体育館
- ③11/12(日)「庄内町合唱祭」…響ホール



安心できる人間関係が、 より良い「ハーモニー」を創る！

【合唱で学校を創る】 五十嵐 久先生（音楽科）



基本的に、人は（生徒は）歌が好きであると私は確信を持っています。人は誰でも楽しいときやうれしいときは思わず声が出たり、心が高ぶることを小さいときから体験し、喜びを覚えてきました。それがクラスの仲間や学校の仲間など、人数が増えれば増える程喜びが増し、感動が高まっていくと思います。

私が中学校で音楽を教えるようになった頃は、学校に落ち着きがなく、授業も思うようにいかない時期が多くありましたが、歌が上手くなるにつれて生徒の心も落ち着き、感動的な歌も歌えるようになっていきました。つまり、歌をうたう生徒は高いレベルの感動を求めると同時に、達成感・満足感そして自己存在感を体験して周りと協調することの素晴らしさを自然に体験しているのです。そこに音楽教育の神髄といったものがあるように思います。一人だけでやる音楽はあまり楽しくありません。一緒に作り上げる人、聞いてくれる人がいて音楽は成り立ちます。だから、どこの学校に行っても、必ず歌の上手い学校にして、生徒の輝いた目を見ることに大きな喜びを感じるようになりました。

初めから上手な生徒はいませんが、上手になりたいと思っている生徒はたくさんいて当たり前。そうであれば少々難しい歌でもチャレンジする心・方法・手順さえ教えれば、どんどん上手くなり、感動的な歌ができ、自信につながり、生徒同士の絆が深まります。

今年は、庄内町の合唱祭への参加が生徒会の年間計画に入るようになりました。さらに、青少年健全育成県民大会のアトラクションで歌ってほしいという依頼まで頂き、吉村県知事さんの前で歌うという大変名誉な機会をいただくことができましたので、さらに生徒にとって大きなステップになると思います。とても素直に頑張る立中学生ですから、きっと素晴らしい感動を参加者全体に与えてくれることを期待して指導に当たろうと思います。



会場がどよめいた「庄内町合唱祭」H28. 11. 13